



トヨタ エスティマ

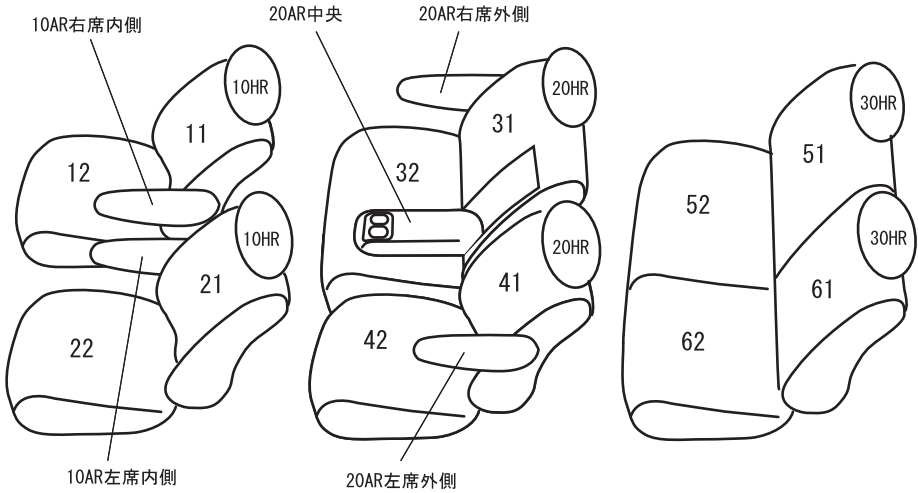
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

* 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。

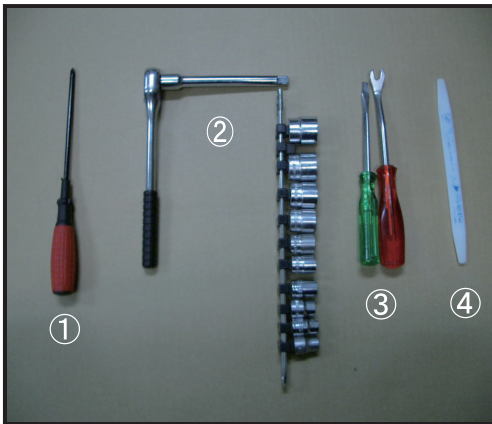
0286/0287/0288/0289/0291/0292
0293/0294/0295/0296/0297

本製品シート形状とパーツの名称



レイアウト図（図は8人乗りのものです。）
他のグレードの図は、説明書内を参照してください。

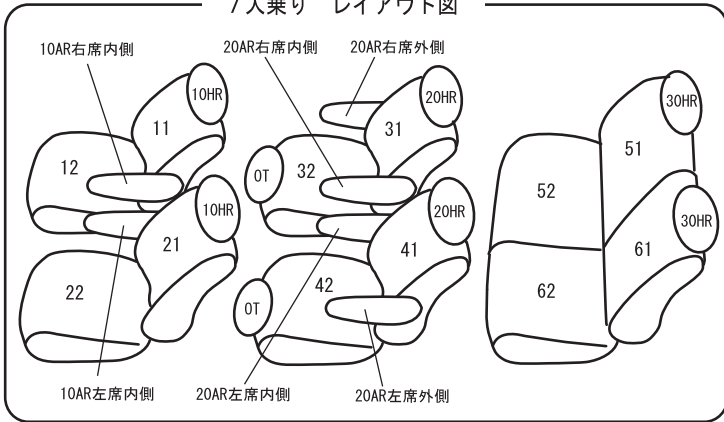
取り付け使用工具



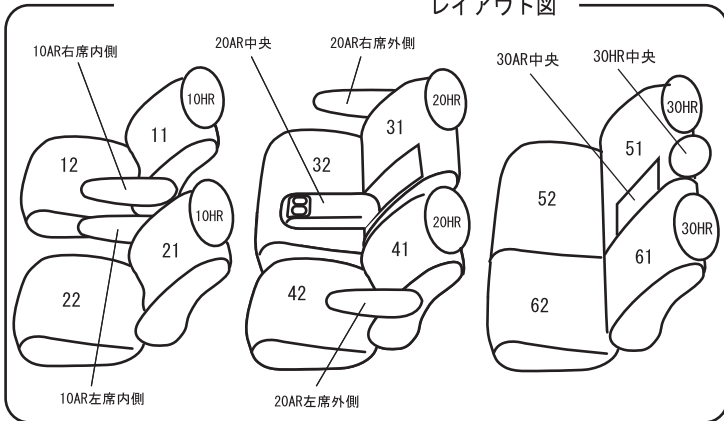
道具名

- ①＋ドライバー
- ②ソケットレンチセット
- ③ードライバーまたは内張り外し
- ④ヘラ（類似品でも可）

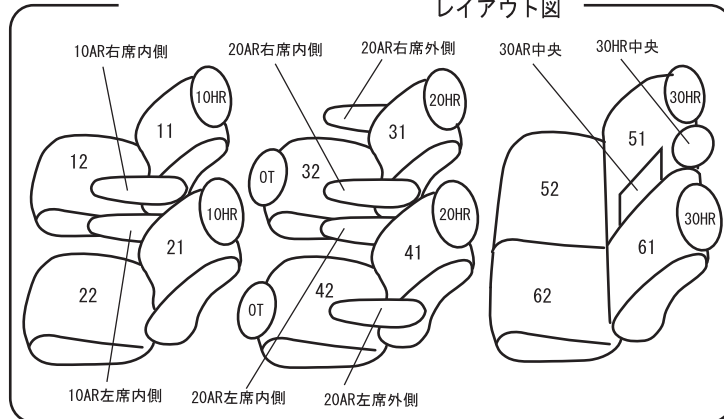
7人乗り レイアウト図



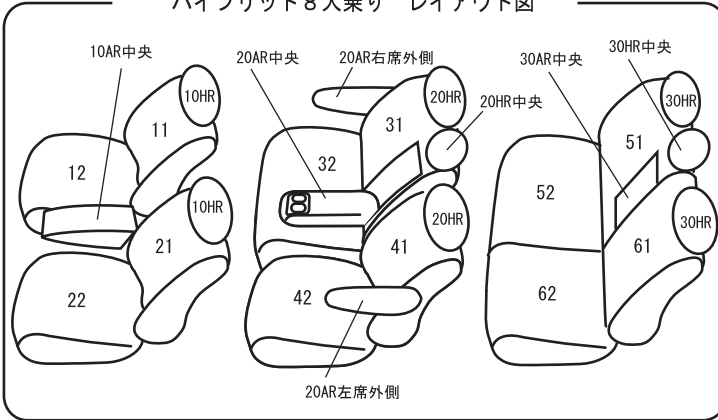
8人乗り (3列目センターアームレスト付き)
レイアウト図



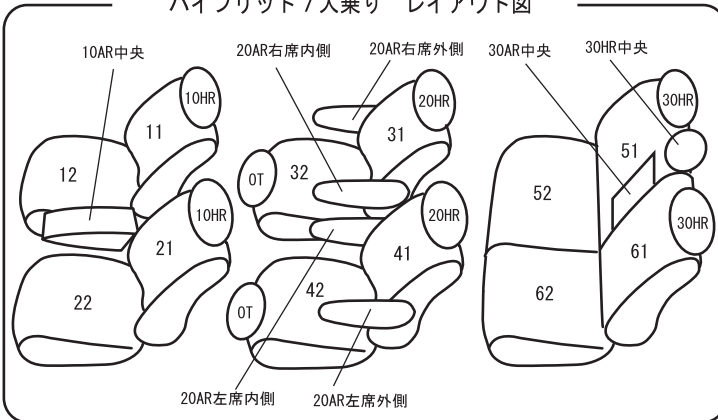
7人乗り (3列目センターアームレスト付き)
レイアウト図



ハイブリッド8人乗り レイアウト図



ハイブリッド7人乗り レイアウト図



—目次—

- 1-2 1列目座面(手動、電動シート共通)
- 3-4 1列目背もたれ
- 5 2列目座面(7人乗り)
- 6-7 2列目座面(7人乗り・オットマン)
- 8-9 2列目座面(8人乗り)
- 10-11 2列目背もたれ(7人乗り)
- 12-13 2列目背もたれ(8人乗り)
- 14 2列目センターアームレスト(8人乗り)
- 15-16 3列目座面
- 17-18 3列目背もたれ
- 18-19 3列目背もたれ(電動シート)
- 20 1、2列目アームレスト
- 21 3列目アームレスト
- 21-23 ヘッドレスト
- 23-24 ハイブリッド用1列目センターアームレスト
- 25 完成図

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

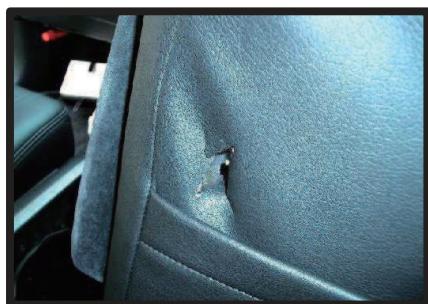
TEL 072-330-8000

コンビニフックについて

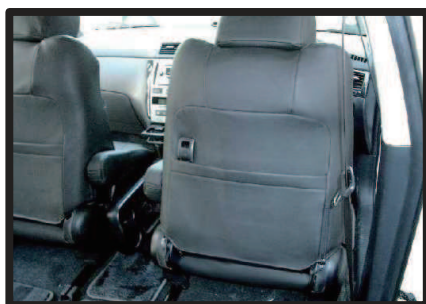
一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。

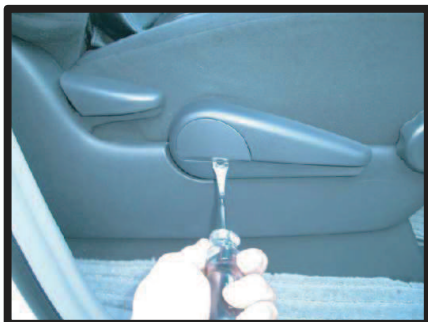


- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1 列目座面(手動、電動シート共通)



①シートリフター付きの車は、レバーを取り外します。まず内張りはがし等を使い、図のようにしてフタを取ります。



④座面シートカバーを裏返しておき、シートのラインに合わせてから被せていきます。シートリフター付きの場合は側面のダイヤル部に切れ込みの位置を合わせます。



②ネジを外してレバーを引き抜きます。



⑤座面と背もたれの間座面後部にあたるカバーの部分を入れ込みます。背もたれの角度を調整し、入れ込みやすい位置で行なって下さい。



③座席裏側の下に付いているカバーを外します。座面の下にゴムがプラスチック部品で固定されているので、前に押し出すようにして外します。



⑥電動シートの場合は座席の背面下部(③で外した純正カバーの裏)に配線のコードがあります。⑤で入れ込んだ部分を引き抜く際に触れますので無理をかけずに横にずらします。

1 列目座面の続き



⑦座席の後方より⑤で入れ込んだ部分を引き出します。



⑩⑨で回したベルトを座席後下方から取り出し、写真○印のバックルにて固定します。ベルトをまずバックルの中央に通して次に下の隙間に通します。



⑧座面側面のカバーに付いているプラスチック部品を、シートのプラスチックカバーの中に入れ込みます。この際指で入れにくい場合はヘラのようなものをご利用下さい。



⑪⑩で通したベルトを前方に引くことで前後で締めあい固定されます。力を入れすぎるとベルトが切れる場合がありますのでご注意ください。



⑨座面前下方のシートカバーにベルトが付いてあります。電動シートの場合はプラスチックカバーの内側にベルトを通してください。ベルトはシートを前後させながら座席後方に回します。



⑫運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。③で外したカバーは背もたれカバーを取り付けるまでそのままにしておきます。

1 列目背もたれ

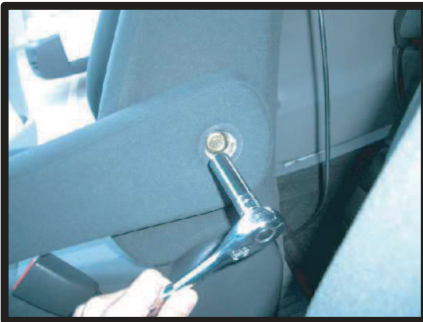
座面カバーを取り付けた後に
背もたれカバーの取り付けを行って下さい。



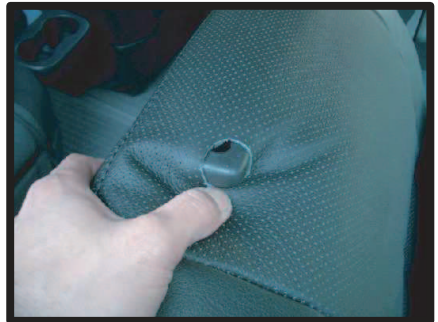
ハイブリッド車は①②の作業は必要ありません
①アームレストを取り外します。側面の丸いプラスチックカバーを内張りをはがし等で外して下さい。隙間に入れ込み、軽く引くと外れます。



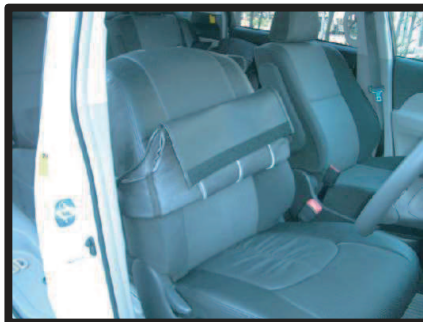
④肩の部分までしっかりと入れ込んで下さい。



②アームレストを固定しているボルトを外します。ソケットレンチ等でボルトを反時計回りに緩め、アームレスト本体を外します。



⑤ヘッドレストの台座を穴から取り出します。まず台座の半分をしっかりと入れ込み生地伸びを利用して横から潜り込ますように取り出して下さい。無理に入ると破れる恐れがあります。

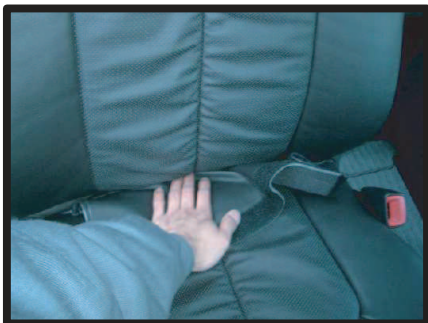


③ヘッドレストを外し背もたれカバーを被せませす。カバーを半分ほどで折り返し、ラインを合わせて左右均等に引き下げていきます。



⑥カバー全体を引き下げたらたるみがないか確認して下さい。①～③の順番にカバーをなで下ろして、シートに密着させるようにシワをなくしていきます。

1 列目背もたれの続き



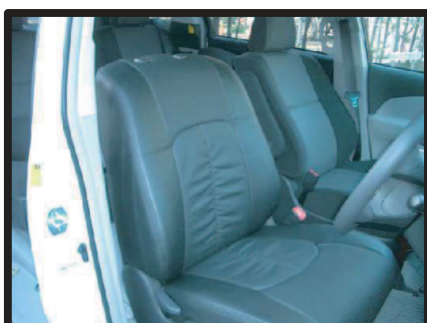
⑦背もたれと座面の間にシートカバーを入れ込み、背もたれ裏側から引き出しておきます。



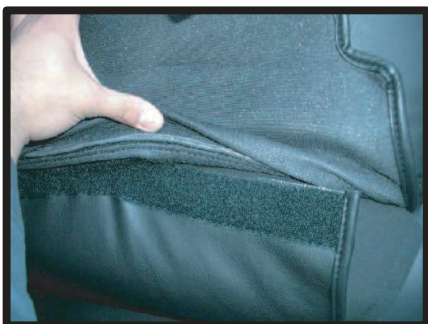
⑩背もたれ背面の一番下にゴムが付いており、そこに付属のS字フックを取り付けます。S字フックを座面裏の金属部分に引っ掛け固定します。



⑧1ページ③で外した背面下の純正カバーを内側に丸めます。この部分がシートカバーの中に収まる程度の大きさに丸めて下さい。



⑪ラインを整え運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



⑨⑧で丸めた純正カバーを中に収めてマジックテープ部分を固定します。マジックテープが届きにくい場合は⑥⑦⑧の工程を再度行って下さい。

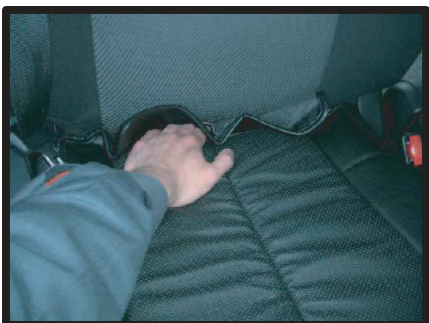
2列目座面(7人乗り)



①オットマンを出した状態でシートのラインに合わせてシートカバーを被せます。



④座面カバー前側の両端にゴムが付いていますので、付属のS字フックを取り付けます。



②背もたれと座面の上に座面後部にあたるカバーの部分を入れ込みます。背もたれの角度を調整し、入れ込みやすい位置で行ってください。



⑤座席の前から座面下を覗くと、○印の位置に金属の部品が見えます。ここに④で取り付けつけたS字フックを固定します。



③側面側に丸く厚みの付いている部分を座席土台のプラスチック部分に入れ込みます。入れにくい場合はヘラのようなものをご利用下さい。



⑥座席の後方から②で引き出した部分をシート本体にマジックテープで固定します。

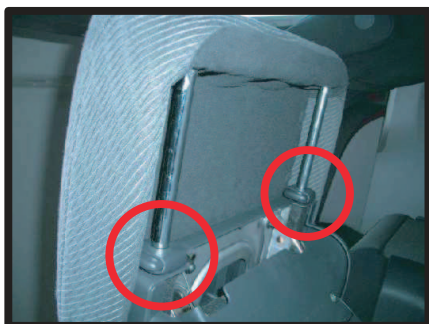
2列目座面(7人乗り・オットマン)



①オットマンを出して伸ばした状態にします。



④カバーを被せていきます。裏が鉄のアームの付け根にあたる方から被せ始めます。角がラインに合ってきちり収まるまで入れ込んで下さい。



②オットマンを取り外します。ヘッドレストと同じ要領で外れますが○印台座の部分に両側ともロック解除のボタンが付いています。両方ともを押しした状態で取り外して下さい。



⑤カバーを左右均等に入れ込んでいきます。カバーがきつめに出来ていまずのでオットマン本体をもみ込むようにしてゆっくりと入れ込んで下さい。



③写真がオットマンを取り外した状態です。



⑥写真のようにカバーが収まっているか確認して下さい。

2列目座面(7人乗り・オットマンの続き)



⑦カバーが入ったら裏面でプラスチックフックにて固定します。



⑩オットマンをシートに取り付け完成です。



⑧プラスチックフックは、平らなプラスチック部側を生地とともにフック部に入れ込みます。プラスチック部のみ入れてもしっかり固定されませんのでご注意ください。(写真断面図)



⑪オットマンを戻した状態です。



⑨写真のように固定されていることを確認して下さい。



⑫ラインを整えて2列目座面の完成です。
助手席側も同様に取り付けます。

2列目座面(8人乗り)



①座面を半分ほど跳ね上げ、シートカバーを前側から被せていきます。



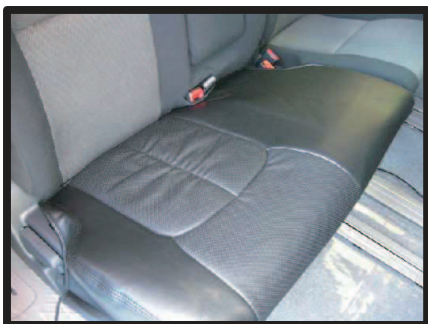
④座面を引き起こし②で入れ込んだカバー部分とベルトを引き出します。カバーはマジックテープにてシート自体に固定出来ますのでシワがよらないよう固定して下さい。



②座面と背もたれの間のカバーを入れ込みます。ベルトが付いてますので一緒に入れ込んで下さい。背もたれの角度を調整し入れ込みやすい位置で行ないます。



⑤座面を引き起こした状態でカバーの両脇に付いてある紐を縛り固定します。片方の紐に輪を作り、もう片方の紐を輪に通し引くことでシートカバーの座面下回りが絞まり固定されます。



③この時点でラインのずれや角口にたるみがないか確認して下さい。



⑥④で取り出したベルトをカバー前方にある○印バックルにて固定します。ベルトをまずバックルの中央の隙間に通し次に下の隙間に通します。それを後方に引くことで前後で締めあい固定されます。

2列目座面(8人乗りの続き)



⑦座面側面のシートカバーはシートのプラスチック部に入れ込みます。入れ込みづらいときはへらのようなものをご利用下さい。



⑩側面側です。



⑧内側の部分も同様に入れ込みます。



⑪ラインを整え2列目運転席側座面の完成です。



⑨座面を引き起こした状態です。

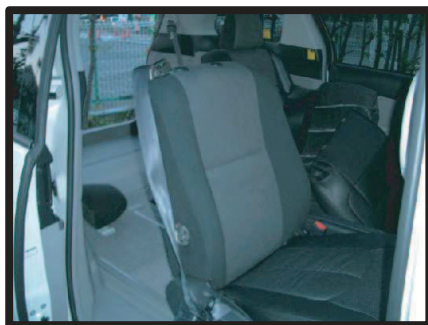


⑫2列目助手席側座面も運転席側とほぼ同様に取り付けますが、ベルトは付いておりません。

2列目背もたれ(7人乗り)



①シートカバーにファスナーが付いてますので完全に開いた状態にしておいて下さい。1列目の背もたれ同様にアームレストを取り外します。



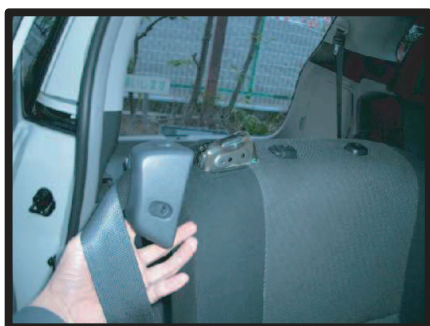
④この状態でカバーを付け始めます。



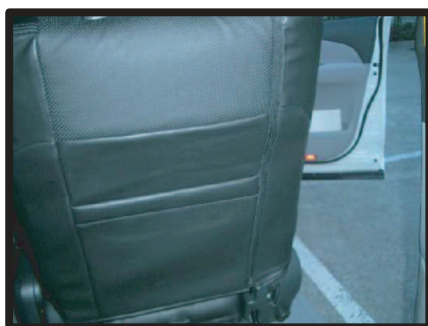
②シートベルトが出ているプラスチックのカバーを取り外します。ドライバーにてネジを2ヶ所外します。



⑤シートベルトは外に出るようにしてシートカバーを取り付けます。シートベルトの台座がある部分からファスナーを閉めていきます。

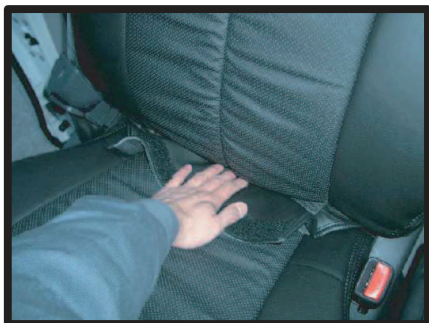


③ネジを抜くとプラスチックのカバーが取り外せます。

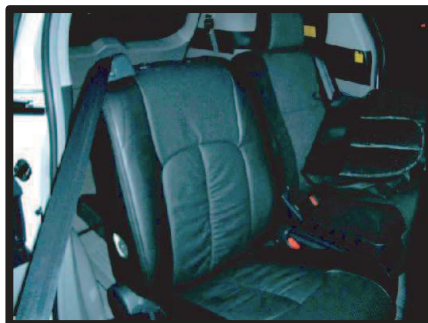


⑥ラインのずれがないか確認しながらファスナーはゆっくりと引き下げてください。強引に引き下げようとするとファスナー自体が破損しますのでご注意ください。

2列目背もたれ(7人乗り)の続き



⑦背もたれと座面の間にシートカバーを入れ込みます。1列目と同様にシート本体にカバーを馴染ませます。



⑩ラインを整え2列目背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

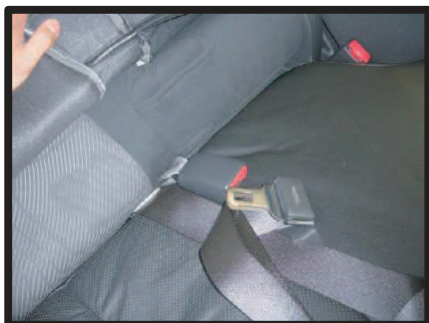


⑧⑦で入れ込んだ部分を背面から引き出して、マジックテープで固定します。

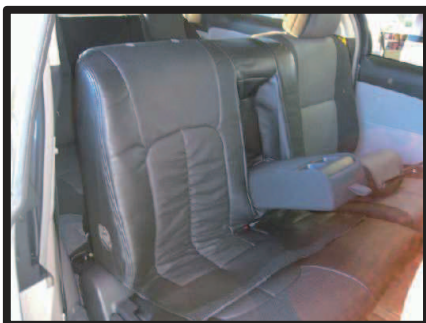


⑨③で外したプラスチックのカバーを付け直します。生地がしっかりプラスチックのカバー内に収まっているか確認の上、ネジ穴を正確に合わせ取り付けて下さい。

2列目背もたれ(8人乗り)



①背もたれ中央のシートベルトをポケットから外します。下側の穴から引き抜いて下さい。



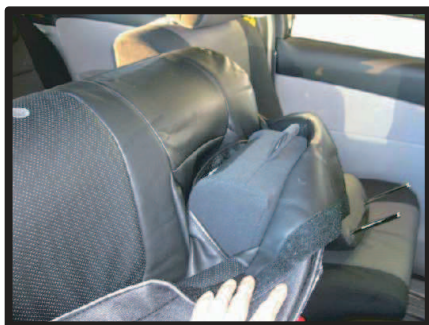
④完全にシートカバーを引き下げると写真のようになります。



②シートカバーを半分ほどで裏返しラインを合わせ左右均等に引き下げていきます。



⑤アームレスト下に垂れている生地をアームレストの下より潜り込ませて下さい。アームレストの角度を調整しながら行ないます。

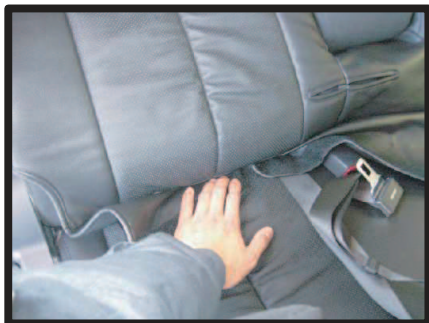


③背もたれのカバーを引き下げる際、センターアームレストをシートカバーの穴から出しておきます。

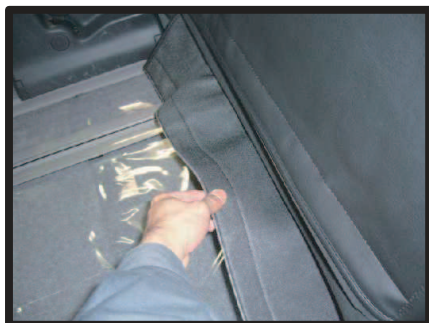


⑥⑤で潜り込ませた部分とアームレストの内に入る部分をマジックテープにて固定します。

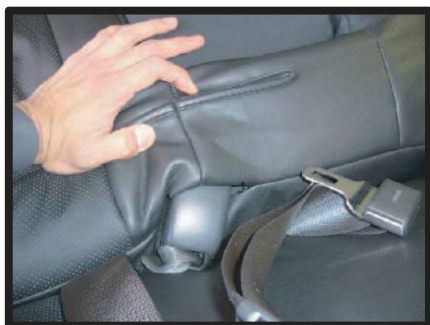
2列目背もたれ(8人乗り)の続き



⑦背もたれと座面の間にカバーを入れ込みます。背もたれの角度を調整し入れ込みやすい位置で行なって下さい。



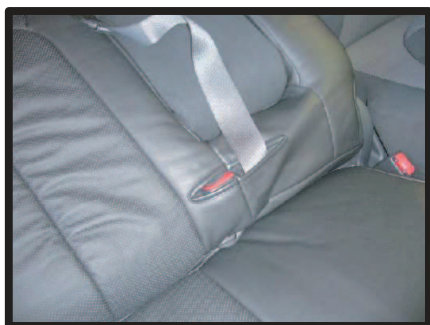
⑩⑦で入れ込んだ部分を座席の背面に回り引き出します。



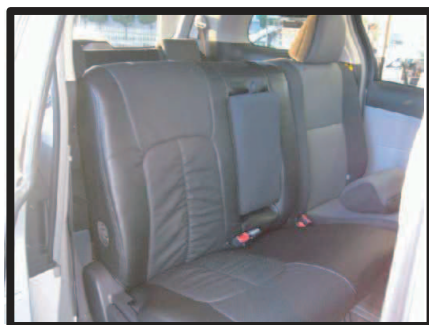
⑧シートベルトと留め具をカバーの加工してある切り込み口に入れ込みます。



⑪⑩で引き出した部分を背面下の裏側にて、カバー同士をマジックテープで固定します。



⑨⑧で入れ込んだシートベルトと留め具をアームレスト下の切り込み口より取り出します。



⑫ラインを整え2列目背もたれの完成です。

助手席側は1列目背もたれの手順を

2列目センターアームレスト（8人乗り）



①アームレストを出した状態でカバーを半分ほど裏返し被せていきます。



④アームレストの下側からも生地を入れ込み、アームレストの付け根部分にてマジックテープで固定します。



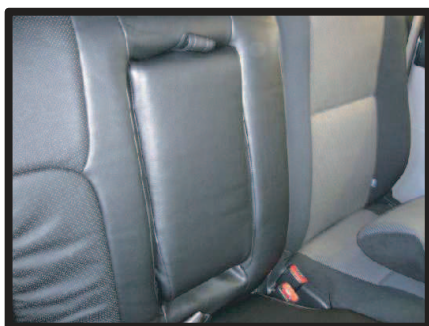
②初めにアームレストの先まできっちりカバーが収まるよう入れ込んで下さい。



⑤ラインを整え2列目センターアームレストの完成です。



③裏返していた部分も左右均等に入れ込んでいきます。

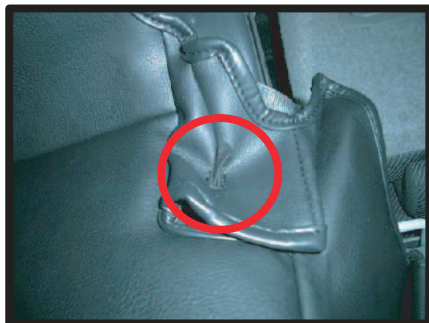


⑥背もたれに収めた状態です。

3 列目座面



①シートベルトの留め具がゴムに固定されているので、ゴムを外しておきます。



④○印の部分からシートベルトを固定していたゴムを出します。



②シートカバーを裏返しておき、シートのラインに合わせてから被せていきます。



⑤シートベルトをゴムで固定します。



③シートのラインに合わせて被せていきます。



⑥座面と背もたれの間座面後部にあたるカバーの部分を入れ込みます。背もたれの角度を調整し、入れ込みやすい位置で行なって下さい。

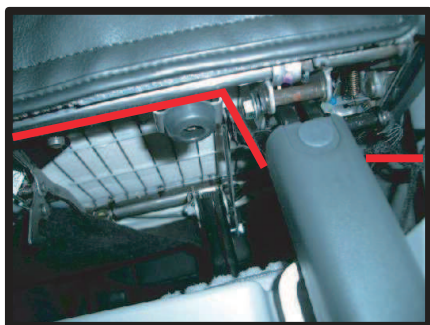
3列目座面の続き



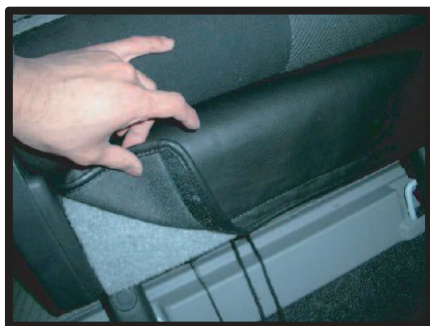
⑦カバーの側面下の紐を座面裏側から取り出します。



⑩ラインを整えて3列目座面の完成です。
助手席側も同様の取り付け手順で行なって下さい。



⑧図は車の後ろから座面裏側を見た場合です。紐を赤い線で記した位置に通して結びます。



⑨⑥で入れ込んだ部分を座席の後ろ側から引き出し、シート本体にマジックテープで固定します。

3列目背もたれ 3列目電動シートの場合は18, 19ページを ご参照下さい。



①シートカバーを半分ほどで裏返しライニングを合わせ被せていきます。



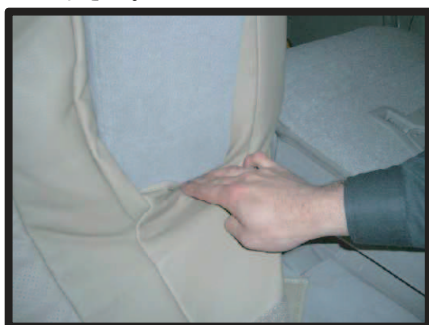
④背もたれと座面の間にシートカバーを入れ込みます。



②センターアームレスト付きの場合はシートカバーの穴に通しておきます。また、矢印部分のリクライニング用レバーもこのときに取り出して置いて下さい。



⑤座席後方に回り④で入れ込んだ部分を引き出して、背もたれ背面(→の部分)にマジックテープで固定します。



③アームレスト下の生地を図のように入れ込みます。アームレスト収納部分のマジックテープはこのあとアームレスト取り付け時に固定します。— 17 —



⑥背もたれカバー裏側をマジックテープで固定します。

3列目背もたれの続き



- ⑦座席の背面にはシートを持ち上げる際に使うレバーがあります。そのプラスチックカバーをドライバーを使って外します。



- ⑧シートカバーの生地をプラスチックカバーの内に収まるようにします。生地がはみ出していないかを確認しプラスチックカバーを元の通り付け直します。

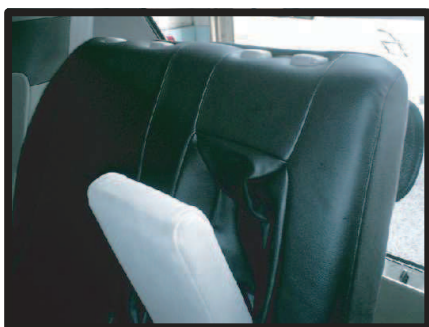
3列目背もたれ(電動シート)



- ①背もたれ背面にある板を写真のように起こします。

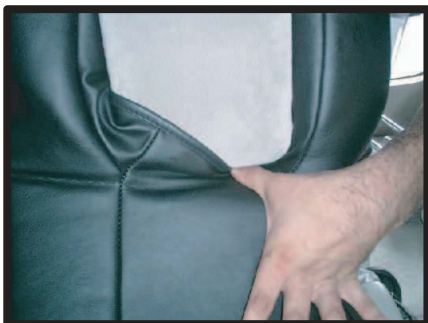


- ②シートカバーを半分ほど裏返してから被せていきます。この時にカバー背面上部分の切れ目の間に、起こしておいた板を通します。



- ③センターアームレストをシートカバーの穴に通しておきます。

3列目背もたれ(電動シート)の続き



④アームレスト下の生地を図のように入れ込みます。アームレスト収納部分のマジックテープはこのあとアームレスト取り付け時に固定します。



⑦後方に引き出した生地を写真○部分のように内側へ折り曲げます。そしてその上から矢印が指しているマジックテープ部分のカバーをシート本体へ固定します。



⑤背もたれと座面の間にシートカバーを入れ込みます。



⑧②で切れ目の間に通しておいた板にマジックテープで固定します。



⑥入れ込んだ生地を後方から引き出します。この時、矢印部分に電動シート用の配線が通っているので、配線を避けるように左右からカバーを引き出します。



⑨ラインを整え3列目背もたれの完成です。
助手席側も同様の取り付け手順で行なって下さい(アームレストはなし)

1、2列目アームレスト



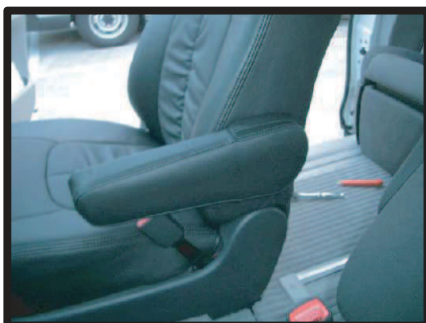
①ラインを合わせ先までしっかり入れ込みます。



④アームレストがシートにしっかり固定出来たことを確認しファスナーを閉めていきます。



②アームレストはシートから外した状態でファスナーをゆっくり閉めていきます。いったん閉めたファスナーを開けボルトを差し込む方のカバーを外します。



⑤ラインを整えアームレストの完成です。
1列目2列目ともに同様に取り付けます。



③②の状態のままアームレストを内側のツメとシート本体側とをきっちり合わせてシートに取り付けます。ボルトを締めたら丸いプラスチックのカバーをはめます。

3列目アームレスト



- ①アームレストカバーをかぶせます。マジックテープが生地の表側に付いている方を収納する側にして、先端までしっかりと入れ込みます。

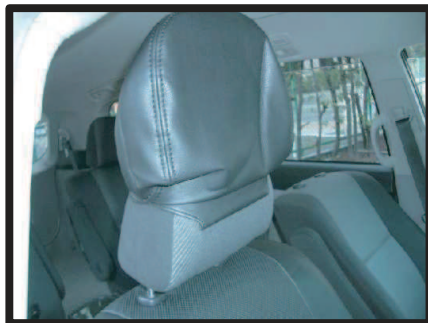


- ②アームレストの収納部分とアームレスト本体側のマジックテープを固定します。



- ③アームレストの下部は、背もたれ下側のマジックテープと固定します。

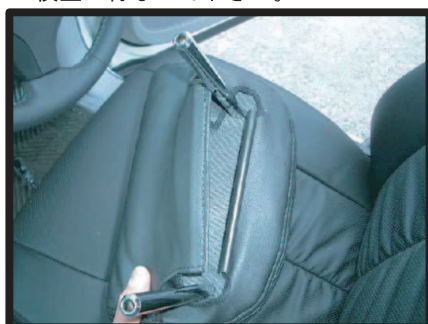
ヘッドレスト



- ①ヘッドレストカバーの前後を確認してから被せます。平らなプラスチック部品が付いている方が前です。ラインを合わせてから被せて下さい。



- ②ヘッドレスト本体に揉み込むようにカバーを入れ込んでいきます。縫い目部分に力がかかりすぎると生地が破れる恐れがありますので、作業は慎重に行なって下さい。



- ③ヘッドレストを背もたれから取り外して、底面のカバーを被せます。

ヘッドレストの続き



④プラスチックフックで固定します。



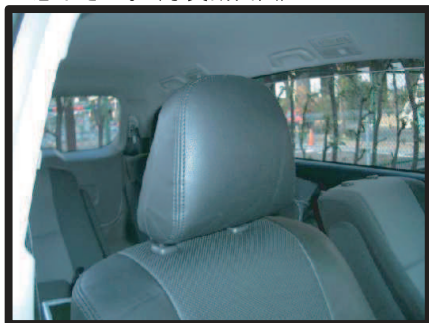
⑦3列目ヘッドレストは下部分からカバーを入れ込んでいきます。



⑤平らなプラスチック部側を生地とともにフック部に入れ込みます。プラスチック部のみフック部に入れ込んでもしっかり固定されませんのでご注意ください。(写真断面図)



⑧ヘッドレスト本体の後ろ側を圧縮しながら全体を入れ込みます。カバーの位置を調整してから、1列目と同様にプラスチックフックで固定します。



⑥ヘッドレストを背もたれに取り付け完成です。



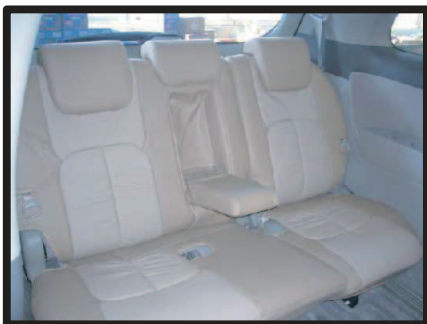
⑨ヘッドレストを背もたれに取り付け完成です。

2、3列目 センターヘッドレスト (装着車のみ)

2、3列目センターヘッドレストは
3列目ヘッドレストと同様の取り付け
方になります。



8人乗り2列目センターヘッドレスト
付きシート



3列目センターヘッドレスト付きシート

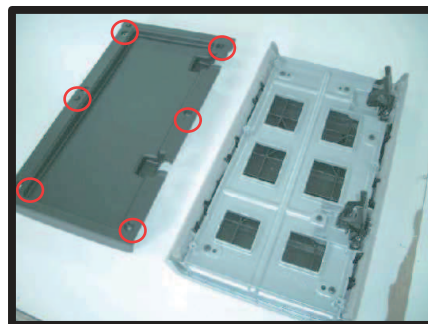
ハイブリッド用 1列目センターアームレスト



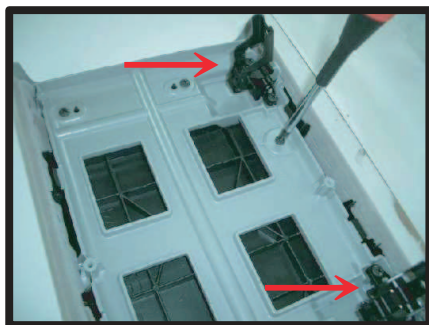
- ①アームレストのフタを開けます。
始めに、図の丸印の箇所のプラスチ
ックカバーを取り外します。



- ②プラスチックカバーの矢印の箇所に
ある凹みに、ヘラ等を差し込み、フ
タを開きます。中のネジを外すとカ
バーが外れるようになるので、さら
に中のネジも外します。



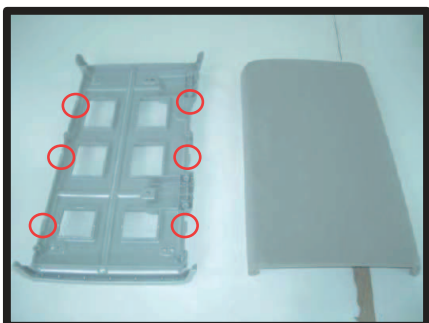
- ③コンソールボックスからフタ部分を
外し、裏返して丸印の個所のネジを
外すと、図のように内ボタンが分離で
きるようになります。



④内ブタを外すと、フタの裏側にネジがありますので、これも外していきます。さらに、矢印部分の固定金具も外します。



⑦4辺の生地を巻きつけると、図の丸印のように、角に生地が余りますが、内ブタを取り付ける際に、生地を挟み込む事で収まります。



⑤ネジを全て外し、ツメで固定されている箇所（図の丸印）を外すと、図のように2つのパーツに別れます。図の右側のパーツに、アームレスト用カバー（生地）を貼り付けます。



⑧⑤で取り外したパーツを元に戻していきます。アームレスト固定用金具も取り付けておきます。（この時、角に余っている生地は、そのままの状態です）

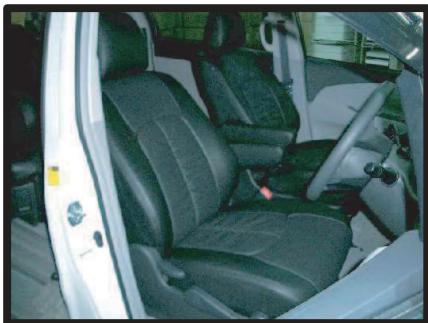


⑥本体の裏側へ生地を巻きつけ、図の丸印にあるツメ部へ引っ掛けるようにし、固定します。
※市販の両面テープ等で固定すると作業がしやすくなります。



⑨⑤で取り外した内ブタを元に戻します。（内ブタを取り付ける際に、余った生地を挟み込みます）アームレストのフタを本体に取り付け、完成です。

完成図（7人乗り）



1 列目



2 列目



3 列目

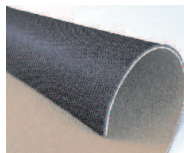


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。
- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。
- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。

